

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

団体名	おたるご当地応援隊			
事業名	おたる運がっばと楽しく学ぼう小樽探学隊			
実施期間	令和4年10月2日・10月23日			
事業の目的及び期待する効果	<p>●事業の目的 日常的に生活する中で様々な所に目にする建造物はなぜ出来たのか？多くの観光客はどのような魅力を感じて来樽しているのか、自分達が住んでいる小樽は昔から現代までどのように街並みが変わってきたのか。今回は子ども達に参加してもらいやすいようにご当地キャラクターの「おたる運がっば」をホスト役とし小樽を楽しむ要素を加え、歴史の勉強という堅いイメージをキャラクターの力で優しくする事で興味をもってもらい、市内の住み方や歴史・保存に興味及び街づくりに関心を持つ体験学習にします。</p> <p>●期待される効果 若い世代から街に知識や関心を持つことで景観の大切さを知り、地域に根付いた人材育成に繋がり、本事業をきっかけに探求心が生まれ、市内各所に足を運び自ら学習する事を期待しています。</p>			
実施額	事業費	390,909円	助成額	300,000円

事業内容

【会場・開催時間及びテーマ】

- ・会場は運河プラザ前庭
- ・開催時間：午前10時開始～午前11時30分終了
- ・小樽案内人のガイド協力により今回のテーマ
「色内大通り（銀行街界限）」に沿ってかつて北海道で最も多くの銀行が軒を連ね、経済繁栄を誇っていた場所。これらが集中していた色内大通り：銀行街界限を今回学ぶルートといたしました。
※小樽市は「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～『民の力』で創られ蘇った北の商都」というテーマで地域型日本遺産の候補地域となりました。そのストーリーの中で重要な位置づけである銀行街のなりたちを子供達に伝えます。

【探検予定ルート】

- ①小樽運河プラザ出発 →
- ②旧安田銀行小樽支店 →
- ③旧三井銀行小樽支店 →
- ④旧北海道拓殖銀行小樽支店 →
- ⑤旧三菱銀行小樽支店 →
- ⑥旧第一銀行小樽支店 →
- ⑦日本銀行旧小樽支店 →
- ⑧旧北海道銀行本店 →
- ⑧小樽運河プラザ到着

※その他歩きながら近隣の説明も行う。

【楽しむ要素も内容に追加】

- ・おたる運がっぱにも探検中に登場してもらい、学びの中でクイズを出し、参加者に楽しく体験してもらえようとする。

【今後の子供達が自ら学ぶ要素として】

- ・現地でガイドの方と一緒に学ぶ他に、今回の本事業が終了した後もいつでも学べるように好きな時に好きなタイミングで歴史を学べるようにQRコード付きの二つ折り学習パンフレットを作製致しました。こちらを使用すれば一人でも好きな時におたる案内人の音声ガイドや説明動画を確認する事が出来、現地でポイントをしっかりと学ぶ事が出来るようになります。
※今回の探検ルート以外にも他の場所も入れましたので、参加者は他に興味をもった場所も自ら外に出て探検をしてもらえるように数カ所追加して作製致しました。

【周知方法】

チラシ・ポスターを教育委員会経由あるいは小中学校、市内観光施設へ直接協力依頼を行います。

【スケジュール】

別紙チラシ参照

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

◎事業の日程について

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
10月2日	おたる運がっばと楽しく学ぼう小樽探学隊	20人	31人
10月23日	〃	20人	19人

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

昨年同様2回に分けて開催しました。実施予定としていた8月には新型コロナウイルスの影響もあり、団体内でも協議を重ねて日程を調整し、市内のコロナ状況を注意しながら開催日を調整させていただきました。

開催内容もできる限り室内で集まる事はせず、外での活動をメインとして行いましたが、あいにく2回目の開催では雨が降っておりましたが、受付時に保護者の方には状況によっては、途中で引き返す事も説明をした上で参加していただきました(途中で雨も上がり最後まで開催する事ができました)。

今年も募集は抽選として教育委員会経由で募集を行い、参加する学年も3・4年生に偏っていた事業も今回では3～6年生が偏ることなく参加していただけるようになったことは、とても嬉しく思っております。また、参加日程には偏りがありましたが、今回は3回目ということもあり、出来る限り希望者には参加できるようにガイドの方にもグループを多く分けたりする等、コロナ対策も考えた上で調整して開催する事が出来ました。

初めての方からは「昨年参加した友達から聞きました」、3回全て参加された方は「ガイドの説明がわかりやすく毎年楽しみにしていました」という声ももらい、保護者の方からも事前に「子どもが今年こそ参加したいと言っていますが、今年は開催されるのでしょうか」などの直接問い合わせもいただくほどになりました。

当団体目的の中の「興味」や「探求心」が子供達の中でしっかり身につけている事も感じ、達成することが出来ました。

今回、紙面の作製でガイドの方がいなくても、音声や動画で建物や歴史を学べるようにQRコード付きのパンフレットを作製したことにより、本事業以外でも自らが小樽を学べるような内容にしており、実際2回目の事業後も様子を見ていた所、少しずつですがアクセス回数が伸びており、偶然ですが旧日本郵船付近で参加者(銭函の子)を見かけて、声をかけたところ「交通機関を使って街歩きをしています」と言っておりました。何とも言えないほど嬉しくなり、改めて本事業の達成を目の当たりにした瞬間でした。

行事終了後も動画の視聴回数を見ておりますが、少しずつですが上がっている事も確認できています。歴史に興味を持って見ていただけていると思います。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

<子供たちの声>

- ・銀行の多さにびっくり
- ・小樽ってお金持ちの方がたくさんいたんですね
- ・QRなどの使い方がわからない
- ・外でお話を聞きましたが、建物の中も気になりました
- ・少し寒かったけど、歩いているうちに暖かくなった
- ・小樽クイズが楽しかった
- ・自分の住んでいる所(地域)も調べたくなりました
- ・質問をガイドの方が優しく教えてくれました

<保護者の声>

- ・当日の夜に家では小さなガイド（子供）として一生懸命に説明する姿がとても愛らしく感じています
- ・コロナ禍で外に出る事が少なくなっており、そんな中でもその機会を作ってくれた事や、実施をしていただいた団体様に感謝いたします。楽しく参加していたようです。

3. 今後の事業について

この事業はとても大事な事です。きっかけを作る事で改めて小樽という街を知る事が出来ると思います。小さい時から歴史に興味を持つことは小樽をより大事に想ってくれる方が増え、問題になっている人口減少の一つである、小樽外への人口流出の歯止めにもなるのではと思います。

事業を始めた頃は私も不安が多く、子供達にはやはり歴史というのはハードルが高いのでは？と思っておりましたが、一生懸命に学ぼうとする参加者の姿勢を見るたびに、この活動にも自信をもって3回目を行うことが出来ました。事業の採択をいただきましたことに感謝をするとともに、今後もガイドの方との協議をし、少しでもこの活動が出来るように、子供達も含め幅広い方々が学べるきっかけを作れるように考えていきたいと思っております。